



# ICANNプラハ会合 政府諮問委員会報告 (2012年6月23日～28日)

2012年7月31日  
総務省 データ通信課  
中西 悦子



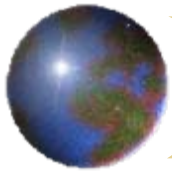
## 政府諮問委員会 (GAC) の概要 (1)

### ● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。
  - － 公共政策課題に関する事項
  - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない。

### ● GACメンバー構成

- 現在、116の国・地域の政府及び24国際機関(オブザーバー)で構成。  
今回からベトナムとAUC(アフリカ連合委員会)がメンバーに。
- 今回会合には50の国・地域の政府、6国際機関が参加。
- 日本からは総務省が代表として参加。



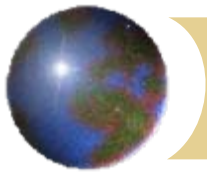
## 政府諮問委員会 (GAC) の概要 (2)

### ● プラハ会合での主要議題

- (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)導入
- (2) ATRT(説明責任・透明性レビューチーム)勧告への対応
- (3) RAA(レジストラ認定契約)改訂等
- (4) IDN-ccTLD(国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)

### ● 今後の予定

2012年10月、カナダのトロントにおいて次回会合を開催予定。  
同会合中にハイレベル会合を併せて開催予定。



## プラハ会合結果概要 (1)

### (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入

#### <スケジュール関連>

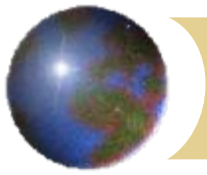
#### 6月17日GAC議長→理事会議長レター

- ・Digital Archeryの改善に向け早急にコミュニティの声を聞くことを理事会に助言。
- ・申請数1930及びスケジュールの遅延を考慮し、申請ガイドブックに記載されている文字列公開後60日間以内の早期警告の代わりに、10月のトロント会合後目途に一括して早期警告を出すことを理事会に助言。(60日×4(バッチ)に比べ、効率性、統一性等の観点から合理的との判断。)
- ・文字列に関するGAC助言については、早くても来年4月の北京会合の後。

#### 6月23日Digital Archery一時停止を公表。

- ・プラハ会合においては、Digital Archery停止の判断を受け、Batchingの目的がdelegation(委任)のレートコントロール(~1000件/年)であるものの、Batching以外にもfirst come, first served等の調整機構があることから、一度に大量のTLDが登録されることはなく、ルートゾーンの安定性に問題を与えないことについて、SSAC(セキュリティと安定性に関する委員会)、理事会と確認した。

#### 6月27日、新gTLD委員会はDigital Archery廃止決定。



## プラハ会合結果概要（2）

### （1）新gTLD（分野別トップレベルドメイン）の導入（続）

#### ＜政府間組織（IGO）名称保護＞

・38機関を代表してOECDから新gTLDプログラムにおける名称保護について、①IGOは条約に基づき設置された組織であり、②パリ条約で名称、略称が保護されていること、③納税者に対する説明、の観点から赤十字、IOC（オリンピック委）と同様の保護を要求。  
⇒一部の国から持ち帰り国内協議をしたい旨の発言があり、今回はGAC助言とならず。

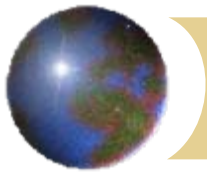
・赤十字、IOCの名称保護に関するGNSO勧告を理事会が却下したことについて、さらなる説明を求める旨、助言。

#### ＜途上国支援＞

・新gTLD申請のうち、アフリカ（17件）、ラテンアメリカ（24件）からの申請が少なかったことについて、第2ラウンドでの再発防止策の検討を理事会に助言。

#### ＜商標保護＞

・商標クリアリングハウスの導入状況について、トロント会合の遅くとも2週間前に報告するよう理事会に助言。



## プラハ会合結果概要 (3)

### (2) ATRT(説明責任・透明性レビューチーム)勧告への対応

#### a) GAC助言レジスタ(勧告10)

ープラハ会合からGACコミュニケのフォーマットを改訂、GAC助言を明確化

(GAC助言一覧)<https://gacweb.icann.org/display/GACADV/GAC+Register+of+Advice>

ーGAC助言のレジスタへの登録から理事会での対応終了までのフローについて議論

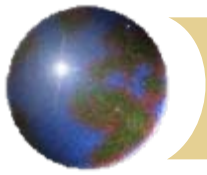
#### b) 理事会がGAC助言に回答する正式な手続きの確立(勧告11)

ーICANN事務局がたたき台を説明。理事会、GACにおいてそれぞれ今後検討

#### c) PDP(ポリシー策定プロセス)の早期段階からのGACの関与(勧告12)

ーccNSOとGNSOのPDPプロセスに対するGACの関与の違い

ーGACの関与が必要な案件のPDPについて理事会が注意喚起する責任を認識した上で、次回トロント会合で引き続き議論することとなった。



## プラハ会合結果概要（4）

### （3）RAA（レジストラ認定契約）改訂等

#### <RAA改訂>

- ・RAA改定案について歓迎するとともに、プライバシー、データ保護の問題についての懸念と、GACとしてその解決に協力する旨表明。
- ・RAA改訂については、新gTLDの運用開始前に行うべきこと、WHOIS Review Teamの勧告も含めた形で行うこと、を理事会に助言。

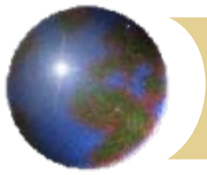
RAA改定案等：<http://prague44.icann.org/node/31631>

#### <産業界における自主規制機関としてのICANNの役割>

- ・理事会に対し、①DNS業界を監督する際の原則とメカニズム、②レジストリ・レジストラなどの一部について認定・契約を行い、リセラーには行ってこなかった理由、③リセラー等がICANNのポリシー・契約義務を違反した際の対応策、について書面による回答を要求。
- ・DNS業界の監督やコンプライアンスの観点から、証券取引所におけるコンプライアンス組織等を参考に、新gTLD導入前にICANNの機能改善することを理事会に助言。

#### <倫理及び利益相反>

新gTLDプロセス等においてICANNのガバナンスの枠組みを強化するため、倫理及び利益相反に関するポリシーの有効な実施に向け、早急に必要なステップを執ることを理事会に助言。



## プラハ会合結果概要（5）

### （4）IDN-ccTLD（国別トップレベルドメイン名の多国文字表記）

● “.gr”や“.eu”のIDN対応（ギリシャ語でそれぞれ“.ελ”, “.ευ”）等について、IANAがISO3166の2文字コードとの紛らわしさの観点から却下したことに対し、欧州諸国が反発。

#### <GAC助言>

- ・このような判断を行うにあたっては、透明なプロセスの下、申請を却下する際には詳細な説明を行うべき。
- ・GACは2文字IDN評価方法については、今後も見解を示す予定である。
- ・先般却下されたIDN、特に公共機関から申請されたものについては、これらの観点から早急に再考すべきである。
- ・GACとしては提案されたIDN ccTLDについての紛らわしさに係る判断について、再審理のプロセスを創設することを助言する。